



うもれ木

魚津埋没林博物館広報誌

第 6 号

発行日：平成9年3月31日

編集発行：魚津埋没林博物館

印刷：魚津印刷(株)

光 柱



海上の夜空に縦に伸びる淡い光のすじが並んでいます。これは光柱と呼ばれる現象で、上空に漂う氷の結晶に漁船の集魚灯の光が反射したものです。右上の斜めの直線の光は富山空港に向かう飛行機の軌跡です。

(1997(平成9)年2月2日午後8時ごろ、
博物館近くの海岸で撮影)

《特集》 蜃気楼Q&A

いよいよ蜃気楼のシーズンです。今回はこの蜃気楼について博物館によく寄せられる質問の中からいくつかを選んでお答えしましょう。

Q1：蜃気楼ってどんなものなの？

A：蜃気楼というのは、光の屈折によって遠く(5~25kmぐらいまで)の風景が変形して見えるものです。竜宮城や外国の景色が見えるわけではありません。

Q2：蜃気楼には何種類あるの？

A：大きく分けると春型と冬型の2種類があります。また、春型と冬型それぞれに伸びや反転、浮き上がりなどいろいろなタイプがあります。春型の蜃気楼の方が変化が多く、見ごたえがあります。そのため、普通「蜃気楼」という場合は春型を示すのが一般的です。

Q3：春型と冬型のちがいは？

A：春型の蜃気楼は風景が上に伸びたり、上に背中合わせの虚像が見えたりします。冬型の蜃気楼では、風景が下に伸びたり、水平線の上に浮いたように見えたりします。



春型(1994年4月6日)

Q4：蜃気楼はどのようなしくみで現れるの？

A：海の上に冷たい空気と暖かい空気の層ができ、そのあいだで光が屈折すると蜃気楼が現れます。春型の蜃気楼では、海水が大気より冷たく、海面に接して冷たい空気の層ができ、そ

の上を暖かい空気が覆います。冬型の蜃気楼では逆に大気より海水の方が暖かく、海面に接して冷たい空気の下に暖かい空気の層ができます。

Q5：蜃気楼はいつ頃、何回ぐらい見られるの？

A：春型の蜃気楼は4月初旬から5月下旬まで、例年10回程度見られます。冬型は11月から3月の寒い時期に多く、特に真冬には視界さえよければ毎日のように見られます。またそれ以外の時期にも時々見られ、夏にも現れることがあります。



冬型(1992年9月2日)

Q6：蜃気楼の出やすい条件は？

A：春型の蜃気楼は、晴れて気温が18~25度くらい、北寄りのごく弱い風が吹く日の午後に現れやすいようです。冬型の場合は気温が低く視界のよい日によく見られます。

Q7：蜃気楼はどのくらいの時間出ているの？

A：春型の蜃気楼は、5分も続かずに消えてしまうこともあれば、出たり消えたりしながら半日ほど続くこともあります。冬型の蜃気楼は一日中出ていることも珍しくありません。

Q8：蜃気楼はどのくらいの大きさに見えるの？

A：蜃気楼は横の広がりに対して、縦の大きさはとても小さいものです。高さを角度で表すと、1°もありません(人間の視野は約180°)。これは、腕をいっぱい伸ばして持った5円玉の穴に入ってしまう大きさです。そのため観察には双眼鏡などを使った方がよいでしょう。

シリーズ

埋没林の仲間たち ⑥

ブナ(ブナ科)

ブナは、日本の森林の代表的な樹木の一つです。ブナなどのように春から夏に緑の葉を茂らせ、秋に落葉する木の森林を夏緑樹林（かりよくじゅりん）といいます。

ブナの花は春に葉と同時に開きますが、花びらもなくあまり目立ちません。葉は、普通に「葉っぱの絵を描きなさい」と言われて思い浮かべるのを少し幅広くしたような形で、縁が少し波打っています。樹皮は灰色で、凹凸や裂け目がほとんどなく滑らかに見えます。果実は柔らかいとげの生えた殻に包まれ、断面が三角形のやせた栗のような形をしています。ブナは果実のたくさんなる“当たり年”と、ほとんどならない年があることが知られています。この実は多くの動物に食料とし



ブナの新緑

て利用され、あくが少ないので人間も食べることができます。



ブナの果実

富山県内のブナは、標高300mから1,500m前後までの低山帯上部から山地帯に見られます。魚津市内では標高600mから1,500m付近までに生育していますが、急な斜面が多いためまとまった林は少ないようです。

*

魚津埋没林では1989(平成元)年の調査で泥炭層などから少量の花粉が検出されました。果実や葉、木材などは見つからないので、近くに生えていたものの花粉だけが風で飛んできたのかもしれませんが。



この展示物★ここに注目



3号館中央の樹根

3号館は1989(平成元)年に発掘調査を行った現場が再現されています。その中央、つり橋の下にある根に注目してみましょう。

木の種類はスギです。1号館や2号館にある根と比べるとかなり小さく、樹齢は100年前後と思われる。

この根をよく見ると、上の方に直径1cmほどの小さな丸い穴がたくさんあいています。この穴は、フナクイムシという貝の仲間があけた穴です。なぜスギの木に海の生き物があけた穴があるのです



よう。フナクイムシの穴があいているのはこの根と海側の根の2つだけです。館内にあるほかの根にはこのような穴はありません。

埋没林が埋もれたときにはまだ海水に浸かっていなかったか、海水に浸かった期間が非常に短かったと考えられます。そして完全に埋まってしまった後に地面が波に削られ、海に近いところに埋まっていたものが海の中に顔をだし、フナクイムシに食われたと考えられます。その後、河川の氾濫などによって運ばれた土砂で再び地中に埋もれ



たものと考えられます。

お知らせ

●平成9年度の行事予定

写真展

○海岸“その地形・植物・動物”

8月1日(金)～10月31日(金)

○目で見える空気

1月2日(金)～3月31日(火)

博物館教室

○4月26日(土)「春の花・野鳥・動物の観察会」

○5月24日(土)「海浜植物と水辺の鳥観察会」

○7月26日(土)「洞杉・蛇石と山地の植物観察会」

○9月27日(土)「滝と秋の花観察会」

○10月25日(土)「片貝川の紅葉と洞杉観察会」

○2月28日(土)「冬の蟹気楼観察会」



春の博物館教室(平成8年4月)

●展望台ができました

富山湾と北アルプスが見渡せる展望台が完成しました。5～6月には僧ヶ岳の雪絵も見られます。



展望台から見る僧ヶ岳と毛勝山

ご利用案内

- 開館時間 午前9時～午後5時(入館は4時30分まで)
- 休館日 12月～3月の月曜日、祝日の翌日、年末年始(4月～11月無休)
- 入館料 ・大人(高校生以上)…500円(H9年7月1日)から510円円 ・小中学生…250円
- 交通 ・JR北陸本線 魚津駅 } 下車 (タクシー…5分)
- ・富山地方鉄道 新魚津駅 } 徒歩…25分
- ・北陸自動車道魚津ICから車で10分

特別天然記念物 **魚津埋没林博物館**

〒937 富山県魚津市釈迦堂814 ☎(0765)22-1049

